

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 野崎西 小学校

作成日

令和 3年 3月 12日

1 教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に主体的に対応して
たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	ゆたかな心の育成	健やかな体の育成	開かれた学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学テ・県到達度調査とも、常に平均点以上を目指してほしい。 ・毎日の勉強がわかると答える児童の割合を上げるため、児童の興味・関心・意欲を引き出せる指導を今後とも工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい、友達と仲良くしていると感じる児童の割合が高いので、維持して行ってほしい。 ・常にアンテナを高くして、いじめの早期発見・早期解決に全職員で取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんをはじめ、基本的な生活習慣の定着を図ってほしい。 ・運動好きな子供を増やすためにも、興味・関心が持てる場の設定を工夫してほしい。 ・給食が楽しみな児童をさらに増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子をわかりやすく伝えたいと感じる保護者100%を目指してほしい。 ・子供は学校の様子をよく話すと感じる保護者があまり多くないため、学校の普段の様子をより発信してほしい。 ・保護者や地域の支援を受けて、教育力を充実する。
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数の研究授業・協議会を通して教員の授業力向上をめざしている。 ・導入の時間を考え、児童の意見を積極的に引き出せる授業を展開して行ってほしい。 ・うちどくや自主学習ノートの促進を図り、家庭での学習時間を確保する更なる取り組みが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教材を有効に活用して、よりよい道徳心や人権意識を高揚させてほしい。 ・環境問題や野菜づくり等体験的な活動を取り入れ、豊かな心の育成に努めている。 ・教育活動全般において、全職員で全児童を育てる意識を持つことは大切であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場での遊びを通して、体力の向上と豊かな人間性の育成に努めてほしい。 ・早寝早起き朝ごはんを全児童に定着させ、基本的な生活習慣を確立させてほしい。 ・避難訓練等日々の防災教育を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域住民が、図書ボランティアとして、協力していただいている。今後、地域先達の会の支援を受けて、学校行事や授業に参加できる機会を多くしていく。 ・見守り隊の方々を招待しての6年生を送る集会は、学校と地域の交流を深める上でも意義がある。 ・学生ボランティアをより積極的に活用してほしい。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科以外にも、国語や算数の研究授業を共有して、教員の授業力向上を目指している。 ・補充学習等の参加者を増やす手立てをしてほしい。 ・「自主学習ノート」の取り組みを紹介するなど、成果を保護者に伝え、より一層家庭学習が定着するよう啓発し続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材だけでなく、地域の人材を有効に活用し、体験的な活動を計画的に進めてほしい。 ・地域と一体となる清掃活動を今後も続けてほしい。 ・休憩中も教師が運動場へ出て、児童と生き活きと活動している姿がうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の運動を通し、様々な運動に親しむ機会を積極的に与えている。 ・事前・事後アンケートを活用して、授業改善に生かしている。 ・例年行っている避難訓練をもとに、各家庭においても避難場所の確認等子供とともに取り組めるよう啓発してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」や「いじめ特別号」の発行で、学校の授業内容が伝わってよい。 ・作品展等により多くの方が参加していただけるよう、更なる情報発信を積極的に行ってほしい。 ・毎年学生ボランティアを受け入れ、子供たちと活動を共にできていることは素晴らしい。
取組の適切性の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で学力テストの分析をし、課題克服に向けた取り組みを進めているのはよい。 ・個を大切に授業を行っているが、さらに指導法を学び、教師の力量を高めて行ってほしい。 ・子供は意欲的に授業に取り組んでいる。今後、自分の意見を適切な言葉で説明できる児童の育成に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや問題行動に対して、学校全体で取り組んでいる。取り組みも「学校だより特別号」で発信しているのはよい。 ・早期発見・早期解決に努めてほしい。 ・生活指導部を中心に、小さなことを見逃さず、安心して生活できる学校づくりに尽力してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の事前アンケートにより計画案を工夫し、個に応じた声かけを行い、意欲的に取り組める児童の育成に努めている。 ・教材や場面設定を工夫し、誰もが楽しく参加できるよう取組を進めてほしい。 ・テレビ・ゲームの時間短縮など、時間を有効に使い、規則正しい生活を送らせる指導を徹底してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティアや英語の読み聞かせ等充実した図書室運営が行われている。 ・清掃活動を地域の自治会と連携して行っていることはよい。 ・和歌山大学への避難訓練は、保護者・地域、関係機関の協力のもと、年々地域の方の参加者も増え、より充実してきている。
改善年度法に	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト結果の分析をさらに深め、課題解決の方法を具体化し、基礎学力定着に向けて、取り組んでほしい。 ・特に横のつながりを大切に教材研究や授業の準備を行い、教員の資質向上を図ってほしい。 ・自主学習の定着を図り、計画的に学習を進められる児童の育成に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭地域が一体となって、児童を見守っていくよう、積極的に働きかけていく必要性を感じる。 ・情報モラル教室等を通し、物事を正しく捉えられる子供の育成に、一丸となって取り組んでいきたい。 ・教師と児童の距離が近く、信頼関係が築かれていると感じる。教育活動全体において、このことを大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自にめあてをしっかりとめ、取組の過程を大切に、できて良かったという喜びを与える授業にしてほしい。 ・家庭と協力しながら、早寝早起きなど時間を有効に使う手立てを進めてほしい。 ・毎年避難経路や方法を見直し、より安全に避難できる方法を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方に学校に足を運んでいただけるよう、広報活動を積極的に進めてほしい。 ・図書ボランティアに始まり、有意義な学校生活を送れよう、地域との連携をさらに深めてほしい。 ・通学路の安全対策や、学校の老朽化改善・施設の管理面で、地域として応援できることはしていきたい。

3 その他のご意見

・若い教員が多く、機動力に優れ、子供たちとともに活動している場面が多くみられ、活気がある。今後も、教職員一人一人の資質向上に向けてさらに研修を続け、子供を第一に考えた教育活動を行ってほしい。

・大津波を想定した避難訓練は、保護者や地域、関係機関とも連携できている。今後、避難だけでなく防災教育にも力を入れていきたい。

・放課後運動場を開放することにより、遊びに来る子供が増えているのはよい傾向である。また、教員も共に活動してくれているのはすばらしい。

・いじめはこの学校でもあるという意識を持ち、早期発見・早期解決に尽力してほしい。日々、一人一人を細やかに見つめ、問題行動が起こる前に、個に応じた適切な声かけ、徹底した指導をして行ってほしい。

